

1. 高度医療人キャリア形成教育研究推進プログラム

事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に（*）を付したものについては別添の資料が提出されている。これらについては、本事業のホームページの資料あるいは各実施大学のホームページ等でご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

【2019年（平成31年/令和元年）度】

1) 学部生、大学院生を対象としたプログラム

<千葉大学>

○ 病院実務実習における専門職連携実習（亥鼻IPE・Step5）（2015年度開始）

- ・ 附属病院での病院実務実習のアドバンスト教育として、同時期に臨床実習を行っている医学部・看護学部学生との病棟での診療参加型専門職連携実習を約3日間行った。

<富山大学>

○ 「薬学経済」（*）

- ・ 学部生、大学院生を対象として、薬学経済をテーマに、本学卒業生の中からさまざまな職種にて活躍している方々が講義した。
- ◇ 履修学生：学部生・大学院生 70名

<静岡県立大学>

○ 多職種連携演習（IPE教育）

- ・ 学部生を対象として、静岡県立総合病院・静岡済生会病院と協力し、薬学部・看護学部・食品栄養科学部が連携した多職種連携演習を行った。

○ 地域防災演習

- ・ 学部生を対象として、COC事業の一環で静岡地震防災センター及び静岡県立大学にて薬学部と看護学部との合同で防災種連携演習を必修科目として実施した。
- ・ ふじのくに防災マイスター養成講座を受講し、ふじのくに防災マイスターを取得することができる。

○ 防災講習会

- ・ 学部生を対象として、地域防災演習を受講しふじのくに防災マイスターの資格のある学生が高校生の防災意識を高めるために、防災に関する講演や避難所のシミュレ

ーションゲームなどを行った。

○ 静岡県薬事課研修プログラム

・静岡県薬事課の協力により、薬事行政・GMP監視業務に関する研修を実施した。

○ 静岡救命連携演習

・学部生を対象として、必修科目としてBLSプロバイダーコースを学内で開催し、医療者として必要な1次救命処置を身に着け、国際的資格を取得するための演習を実施した。

○ AED講習会

・学部生を対象として、早期体験学習及び静岡救命連携演習の発展カリキュラムとして、高校生や地域の方を対象にAED講習会を実施した。静岡救命連携演習でBLSの資格を取得した学生と教員により指導を行った。

○ 静岡県薬事課意見交換会

・静岡県薬事課職員、薬局・病院薬剤師、5年次生が参加して、薬剤師業務に関する意見交換会を開催した。

○ 大学院特別講義

・大学院生を対象として、年3回、学外の著名な研究者を招聘して研究の最前線に関する講義を開講した。

○ 薬学講座

・学部生（1～5年生必修）及び大学院生を対象として、薬害被害者の講演と創薬研究で顕著な成果を挙げた研究者をそれぞれ招聘し、体験談を交えた講演会を行った。

○ 月例セミナー

・学部生及び大学院生を対象として、年9回、学外の著名な研究者を招聘して研究の最前線に関する講義を開講した。

○ 静岡県立大学薬学部・病院・地域薬局連携薬物療法研修会

・現場薬剤師、大学院生及び学部生を対象に、年8回、処方医などから薬物療法の実践的内容及び処方意図を学習する研修会を開催した。

<名古屋市立大学>

○ 改訂コアカリに対応した新しい医療人教育の開発と実施（*）

・改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムへの対応として、新しいより効果的な薬剤師の実践臨床能力開発の研修を試みた。

<京都大学>

○ 多職種連携プログラム

・1年次生を対象として、夏季休暇中に多職種連携医療体験実習を実施した。

◇ 参加人数：薬学部13名、医学部医学科110名、医学部人間健康科学科21名

・4年次生を対象として、後期集中講義として「医療安全学」を開講し、医学部の学生と合同で、医療者間コミュニケーション、患者とのコミュニケーション、医療事

故の分析についてSGDを行うことで、医療人として必要な医療安全に関する理解・関心を深めた。

◇ 参加人数：薬学部18名、医学部100名

- ・ 1年次生を対象として、夏季休暇中に医学部の学生と合同で1週間関連病院にて実習を行った。実習終了後に事後ワークショップを行い、チーム医療の重要性を学習した。
- ・ 4年次生を対象として、医学部の学生と合同で、医療者間コミュニケーション、患者とのコミュニケーション、医療事故の分析についてSGDを行うことで、医療人として必要な医療安全に関する理解・関心を深めた。

<岡山大学>

○ 全国学生ワークショップ (*)

- ・ 全国学生ワークショップに学部代表の6年次生1名が参加し、「「医療そして社会への貢献～私たちが未来を創ろう～」」というテーマで、全国の薬学部・薬科大学学生が参加して2日間にわたる議論を行った。

○ 大学間連携 研究所等見学・研修プログラム (*)

- ・ 3年次生を対象として、研究者を目指す人材のキャリア形成のために、研究機関および製薬企業の見学と、本学薬学系教員による学生との合宿討論を行った。
- ・ 本研修は、研究室配属直後に最先端の研究機器を備えた国立研究所や企業の研究所などを見学することで、自身の研究に対するモチベーションを高め、研究マインドを持った薬剤師・創薬科学者になるべく努力を促すことを目的とする。
- ・ 近隣の就実大学から4、5年次生が参加し、卒業研究での経験談を聞くことなどを通して有益な交流を行うことができた。

◇ 参加人数：岡山大学3年次生21名、就実大学4、5年次生6名

○ 新しい緩和医療を体験学習する～リボン洞戸における宿泊研修～ (*)

- ・ 4年次生を対象として、3日間の宿泊研修により、免疫力を上げ、がんを予防するための生活習慣「リボン5か条」を体験することにより、これからの新しい緩和医療について学習した。
- ・ 適切な治療を行うために患者に信頼される態度・コミュニケーション力が非常に大切であるということを学んだ。

◇ 参加人数：4年次生2名

○ 厚生労働省及びPMDA見学会 (主幹校主催プログラム) 【連携】 (*)

- ・ 学部生及び大学院生を対象として、厚生労働省及びPMDAに将来の進路として、もしくはその業務に興味がある学生に薬事行政の現場を見学する機会を提供し、学生の薬事行政への関心を高めることを目的として企画・実施された。

◇ 参加人数：5年次生4名

○ 研究者教員キャリア形成見学・合宿研修【本事業の2019年度学生自主研修プログラムとして採択】 (*)

- ・ 3年次生を対象として、研究者を目指す人材のキャリア形成を促進するために、研

- 究機関及び製薬企業の見学と、本学薬学系教員による学生との合宿討論を実施した。
- ・幅広い「知」を備えた研究型薬剤師（Pharmacist-Scientist）や企業研究者・開発者の育成を目的として、薬学生が製薬企業や研究所における業務の実情や薬学系教員のキャリアパスを学ぶ研修セミナーを実施した。
 - ・若手教員による研究・教育歴の紹介とディスカッションにより、参加学生が自らのキャリアパスにおける将来像を描く機会となった。

◇ 参加人数：3年次生26名、4年次生1名、大学院生1名、教員3名

○ 微研財団観音寺研究所及び理化学研究所神戸事業所の見学会（主幹校主催プログラム）

【連携】（*）

- ・学部生及び大学院生を対象として、微研財団及び理化学研究所（神戸）に将来の進路として、もしくはその業務に興味がある学生に対して、最先端の創薬研究及び生物科学研究が行われている研究所を見学する機会を提供し、学生の研究意欲及び創薬への関心を高め、先導的な研究者養成につなげることを目的として企画・実施された。

◇ 参加人数：4年次生1名、5年次生1名

<広島大学>

○ 患者志向型合宿勉強会

- ・学部3年生を対象として、医療人としての倫理観を醸成するために、薬害被害者7名を招聘し、一泊二日での合宿型勉強会を開催した。

○ キャリアセミナー

- ・学部生及び大学院生を対象として、薬学出身者の多様な進路を紹介するために、企業、行政、病院、薬局など幅広い分野の方をお招きしての講演会、企業ブースや展示、就職相談会、情報交換会を2日間開催した。

○ 手術室見学実習

- ・学部生を対象として、手術室における薬剤師業務を知るために、麻酔科教授ならびに手術室担当薬剤師による講義を受けた後に、実際に手術室に入り、その業務を見学した。

○ 精神科外来実習

- ・学部生を対象として、医師による診断から処方箋作成への流れを知るために、精神科外来診療室での診療への陪席し、必要に応じて医師からの指示による説明書の作成と患者への説明を行い、また精神科入院病棟での担当薬剤師に付き添い、入院時の服薬指導などを体験する実習を行った。

<徳島大学>

○ 第13回「チーム医療入門」 蔵本地区1年生 合同ワークショップ（*）

- ・薬学部、医学部、歯学部の1年生を対象として、「地域包括ケアの実現」というテーマで合同ワークショップを実施した。

○ 第7回学部連携PBLチュートリアル (*)

- ・高学年の薬学部、医学部、歯学部の学生を対象として、チーム医療の実践に必要な能力・資質を身につけさせることを目的として、患者シナリオをもとにグループ討議と自己学習を行いながら問題点を抽出し、プロブレムマッピング方式を用いて全人的な視点から問題点の解決法を立案するPBLチュートリアルを実施した。

○ 2019年度 症例解析総合演習 (*)

- ・薬学部6年生を対象として、薬剤師に必要とされる基本的な臨床思考プロセスの修得を目的として、薬学部で履修してきたコアカリキュラム及び臨床実務実習での知識・経験を統合し、模擬症例で設定された課題を薬学的視点から検討する演習を実施した。

<九州大学>

○ 厚生労働省およびPMDA見学会 (主幹校主催プログラム) **【連携】**

- ・本プログラムにて開催された厚生労働省およびPMDA見学会に学部生4名が参加し、希少疾患などの開発を促進する仕組みをはじめアンメット・メディカル・ニーズへの対応や様々な国やWHOとの連携について理解を深めた。

<熊本大学>

○ メディポリス国際陽子線治療センター研修 (*)

- ・参画大学連携プログラムとして、メディポリス国際陽子線治療センターの見学、所長及び関連研究者の講演を聞く研修を実施した。

2) その他 (大学としての取組等)

<東北大学>

○ スーパージェネラリスト・ファーマシスト・PLUSの養成プログラム

- ・東北大学で取り組んできた高度専門薬剤師養成とスーパージェネラリスト・ファーマシスト養成事業を拡大し、革新的医薬品評価開発支援と高齢化社会の新たな医療を担うハイレベルな薬剤師スーパージェネラリスト・ファーマシスト・PLUSを育成するプログラムを構築した。

○ 東北次世代がんプロ養成プラン

- ・文部科学省が実施する「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン」に東北大学、山形大学、福島県立医科大学、新潟大学が連携する東北次世代がんプロフェッショナル養成推進プランが採択され、これを開始した。
- ・このプランは、第2期がんプロ(正式名:がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン)からの得られた成果からがん医療における新たな課題、ニーズが生まれ、これらの問題に対応すべくプログラムを進める。

○ 東北大学未来型医療創造卓越大学院プログラム

- ・医学系、歯学、薬学、生命科学、情報科学、経済学、文学、教育学、医工学に所属する学生が、未来の医療をより優れたものへと変革する人材の育成を目指し、データ (Data) と技術 (Technology) を駆使して未来の社会 (Society) の課題解決に取り組み、超高齢社会である東北地方、日本そして世界の医療・福祉の理想を求めて学習するプログラムを実施した。

<名古屋市立大学>

○ 東海薬剤師生涯学習センタープログラム 公立大学連携薬剤師生涯学習講座 **【連携】**
(*)

- ・静岡県立大学と共同で大学が発進する薬剤師職能開発支援向けの研修を実施した (2015年度から開催を継続)。本学学部学生、大学院生も参加 (薬剤師受講は有料、学生・大学院生は無料)。
- ・全9回のうち、研修4回は静岡県立大学とTV会議システムを利用した講義とし、5回は本学独自の「薬剤師レベルアップ研修」として3時間の実習・演習タイプの研修を実施した。
- ・1年生、3年次生は、授業の一環として夜間講義4回とともに薬剤師と一緒に演習を行うプログラムを3回実施し、学生は薬剤師としての生涯研鑽の重要性を理解するとともに、参加薬剤師は新しい学習方法の体験とその効果を実感できるプログラムとした。

◇ 2019年度参加者：薬剤師73名、学部学生32名 (延べ)

<岐阜薬科大学>

○ ルーブリック評価に伴う学生管理システム

- ・学生評価全体に関するルーブリック評価に伴う学生管理システムの構築を図った。

<九州大学>

○ 九州地区国立大学法人3大学合同シンポジウム **【連携】**

- ・例年、九州地区の国立大学法人3大学 (九州大学、熊本大学、長崎大学) 合同シンポジウムを開催しているが、本年は開催しなかった。